

2007年12月17日
イオン株式会社

(株)C F Sコーポレーションの臨時株主総会に向けた 委任状勧誘の開始について

- 株主利益に合わない株式移転比率の否決に向けて、株主の結束を訴え -

本日、イオン株式会社（以下、「当社」）は、2008年1月22日開催予定の株式会社C F Sコーポレーション（以下、「C F S」）の臨時株主総会（以下、「本総会」）における株式移転計画承認議案（以下、「本統合議案」）の否決を目指し、C F Sの株主の皆様に対して委任状勧誘を開始いたしましたので、ここにお知らせいたします。

当社は、かねてより、C F Sの業績が悪化し、株価が低迷する時期に、あえて株式会社アインファーマシーズ（以下、「アイン」）との株式移転比率を決定し経営統合（以下、「本統合」）を行うことは、C F S株主の利益を不当に侵害するものであるとの考えから、本統合議案に反対の立場を表明してまいりました。併せて当社としての企業価値向上策をご提案し、本統合議案の白紙撤回を促しておりました。

しかしながら、C F S経営陣は、2007年12月13日、本統合議案を見直すことなく、本総会を招集することを決定いたしました。

当社は、本統合議案の白紙撤回を促すことを断念し、本統合議案を否決すべく、C F S株主の皆様に対して、本統合議案への反対を呼びかけ、併せて委任状勧誘を実施することといたしました。具体的には、本日、2007年11月22日時点のすべての株主の皆様に対して委任状の用紙および参考書類等をご送付申し上げ、直ちに関東財務局へその写しを提出いたしております。

今後、本総会における有効議決権行使個数の3分の1を超える否決への賛同を得ることを目標とし、資料の送付のほか説明会を開催する等して、C F S株主の皆様に対して当社の考えをご理解いただくよう努めてまいります。

本統合議案に反対する当社の考えは、C F Sの早期の企業価値・株主利益の最大化を望まれるC F S株主の皆様によって、広く支持していただけるものであると信じております。

当社が本統合議案に反対する理由は、以下の2つです。

C F Sの業績が悪化し、株価が低迷する時期に決定された、ことさらに不利な株式移転比率であること。特に、C F Sが「字回復」を表明し、単独での業績向上をめざしながら、不利な移転比率による統合を推し進めようとするのは、株主軽視の経営判断と言わざるを得ないこと。

主として医療用医薬品を扱う調剤薬局のアインと、事業モデルの異なるドラッグストアのC F Sとの統合はシナジー実現の可能性が極めて薄弱である事が予想されること、加えて、C F Sのスーパーマーケット部門の弱体化を招来するなど、本統合は企業価値向上に繋がらないこと。